

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																						
新東京歯科技工士学校		昭和56年3月30日	福原 達郎	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																						
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人 東京滋慶学園	昭和61年2月1日	中村 道雄	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																							
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																					
医療	歯科技工士 専門課程	歯科技工士科Ⅰ部		平成22年文部科学省告示 第五十三号																						
学科の目的	歯科技工士科Ⅰ部は患者の笑顔と健康をサポートできる、基本が徹底的に強い、凜とした医療人(歯科技工士)を養成します。																									
認定年月日	平成26年 3月31日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																				
2 年	昼間	2254時間	752時間	0時間	1502時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
180人	155人	15人	7人	38人	45人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価は試験結果、出席状況、実習作品で評価する																					
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:8月の3週間 ■冬季:12月下旬～翌年1月の2週間 ■学年末:3月の3週間			卒業・進級条件	■成績評価 C以上 ■出席日数・取得時間数 授業時間数の2/3以上の出席が必要																					
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話 連絡の他に、必要に応じて、個人面談、第三者面談を実施する。			課外活動	■課外活動の種類 ・歯科技工士会と連携した研修会の開催 ・各種講習会、テンタルショー、学会の参加 ■サークル活動: 有																					
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 歯科技工所、歯科診療所、大学歯科、病院、歯科機材メーカー ■就職指導内容 学内合同就職説明会や人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 ■卒業者数 62 人 ■就職希望者数 50 人 ■就職者数 50 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 80.6 % ■その他 ・進学者数: 10人 (平成 29 年度卒業者に関する 平成30年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>歯科技工士免許</td><td>②</td><td>62人</td><td>61人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科技工士免許	②	62人	61人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
歯科技工士免許	②	62人	61人																							
中途退学の現状	■中途退学者 5 名 平成29年4月1日時点において、在学者139名 (平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31時点において、在学者134名 (平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 病気、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 電話連絡・個人面談・第三者面談実施及びSSC(学校カウンセラー)との連携強化			■中退率	3.6 %																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																									
当該学科のホームページURL	URL: http://www.dt.ntdent.ac.jp																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをおいています。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留学生」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界が求める人材用件(知識・技術・人間性等)を明確にし、企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識・技術を反映するための場とし、次年度カリキュラムに活かしていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員規程 第7条に基づき、

委員長は、学校が編成した教育課程案を委員会に付議し、委員会による改善意見を校長に報告しなければならない。また、校長は、前項の報告を活かした教育課程を決定し、委員会に告知するものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
西澤 隆廣	公益社団法人日本歯科技工士会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	①②
菅沼 佳一郎	株式会社 三和デンタル(大田区)	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③
森野 隆	公益社団法人日本歯科技工士会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	①②
星野 世一	株式会社 ワールドラボ	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③
福原 達郎	新東京歯科技工士学校 校長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
三觜 雅子	新東京歯科衛生士学校 副校長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
高平 敦	新東京歯科技工士学校 事務局長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科技工士学校 教務部長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
小島 三知長	新東京歯科技工士学校 学部長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
富野 浩子	新東京歯科技工士学校 学科長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 5月 11月

(開催日時)

第1回 平成30年5月29日 17:00～18:30

第2回 平成30年11月予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①歯科業界のデジタル化に対応できるよう、コース別授業で「デジタルコース」を開設。

CAD/CAM機器を用いた実習授業を実施し、即戦力となる歯科技工士を養成する。

②早期離職を防止するために、卒後2ヶ月後(6月中旬)に、同窓会に協力を得て同期会を実施。

今抱えている問題について個別にアドバイスし、明日からの仕事に活かせる技術セミナーを開催。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床実習や歯科技工士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

インターンシップⅠ、Ⅱでは、企業見学および就業体験を実施する。就業体験では一人企業に赴き、一日の仕事の流れを体験しながら社会人としてのマナーや作業効率を学ぶ。また、臨床的実習模型等を用いた実習を現場の担当者のもと実施。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

コース別実習Ⅲ、Ⅳは選択必修の科目(総合コース、デジタル技工コース、スポーツ技工コース)で、学内または学外(企業先)にて特別実習を実施している。

総合コースはポーセレン実習、デジタルコースはCAD設計実習、スポーツコースはスポーツマウスガード実習を、それぞれの専門企業に委託している。実習評価については、各企業の指導のもと本校教員が行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターンシップ I	歯科技工士が働く現場(歯科技工所や歯科診療所)の見学や体験を通して、臨床現場の仕事の流れを理解し、卒業後の進路決定の参考にする。また、訪問先で接する人々に対するマナーを知ることを通して社会性を身につける。	(株)ワールドラボ、(株)オーリアラ、YAMAKIN(株)、DSデンタルスタジオ(株)、(株)メディナ、ケン・デンタリックス(株)、和田精密歯研(株)、(株)ジー・シー等
インターンシップ II	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれ、それぞれの現場を見学、体験しながら、必要とされる知識を学ぶ。	(株)デンタルデジタルオペレーション、デンツプライシロナ(株)、リンカイ(株)、みはる矯正歯科医院
コース別実習Ⅲ	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれ、それぞれの現場を見学、体験しながら、必要とされる知識を学ぶ。	デンツプライシロナ(株)、リンカイ(株)、みはる矯正歯科医院、Y's Dental Techno.Mouthguard Factory
コース別実習Ⅳ	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれ、それぞれの現場を見学、体験しながら、必要とされる知識を学ぶ。	(株)オーリアラ、リンカイ(株)、(株)スマートプラクティスジャパン、みはる矯正歯科医院

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。

学部長、学科長を中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通じ必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通じた研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

【AIを活用したCADプログラムについての研修】

対象:専任教員(学科長、デジタル担当教員1名)

主催:DSデンタルヘルスグループ

内容:大手歯科技工所(DSデンタルスタジオ)が取り組んでいる、AIを用いたCAD設計プログラムについての講演。

期間:3月11日

企業研修に参加し学内にはない最先端のシステムの知識を深めている。

【スポーツ歯科医学会】

対象:専任教員(教務部長、スポーツ担当教員他1名)

主催:一般社団法人日本スポーツ歯科医学会

内容:スポーツ歯科の事例発表、研究発表など

期間:6月23日、24日

スポーツ歯学について業界の動向や最新の研究事例を習得し、コース別実習授業の内容を検討する際、参考にしている。

また、スポーツ技工コース授業での取り組みを事例発表している。発表内容については、学会員である歯科医師を顧問として招聘し、指導をして頂いている。

②指導力の修得・向上のための研修等

【特別講義：医療従事者とヒューマンコミュニケーション】

対象：教務部長、学科長

主催：全国歯科技工士学校教育協議会（演者 元鳥取大学医学部准教授・特認教授 高塚人志先生）

内容：医療従事者に必要な患者とのコミュニケーションの取り方についての体験型授業。

期間：5月18日

医療人としてのコミュニケーション力を教育指導内容を検討するにあたり参考にしている。

【国家試験対策研修会】

主催：滋慶学園グループ 国家試験対策センター

内容：医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間：7月14日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

③研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

【CAD研修】※学内研修

対象：専任教員（全員）

講師：デジタルコース技工担当教員

内容：デジタル担当教員による研修。授業で使用している機器を使用し、CAD/CAMでの製作手順を学ぶ。

期間：必要に応じて不定期に実施。

企業先で研修した内容について、デジタル技工コース担当教員から専任教員全員に技術指導し、教員の技術レベルを向上させる。

②指導力の修得・向上のための研修等

【キャリアサポートアンケート勉強会】

対象：専任教員

主催：滋慶教育科学研究所

内容：学生の傾向と問題状況の読み取り方、学生指導への活用方法を学ぶ。

期間：6月29日

在校生の傾向を色々な側面から検証し、クラス運営やカウンセリングに活用する。

【インタラクティブティーチングフォーラム 第3回学びを促す評価（ループリック）】

対象：専任教員（授業改革担当教員1名）

主催：日本教育研究イノベーションセンター、東京大学大学総合教育研究センター

内容：初等～高等教育で用いている評価法を教材とし、専門家から助言をうけながら改善、実践法を学ぶ。

期間：6月3日、8月3日（開催予定）

「学習者の学びを促す」評価としてのループリックを、本校の評価法として活用していく。

【ループリック評価法研修】※学内研修

対象：専任教員

講師：授業改革担当教員

内容：ループリック評価法を活用した授業評価の事例発表と作成

期間：必要に応じて不定期に実施予定

明確な評価を明示するため、すべての科目でループリック評価表を作成し活用法を学び実践につなげる。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

高等学校の関係者より学校の重点的な取組であるアクティブラーニングについて高い評価を頂いた。

その評価を基に効果が見込まれる科目に展開できるよう段階的に取組むことになった。

卒業生代表より卒業生を対象にした生涯学習の充実について意見を頂いた。

その意見を基に同窓会と連携をして、若手の歯科技工士を対象にした実技セミナーを開催した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所 属	任期	種別
五十嵐 智	コレクトデザイン	平成30年4月1日～平成32年3月31日	卒業生
根目沢 順子	保護者	平成30年4月1日～平成32年3月31日	保護者
阿部 隆一	東星学園高等学校	平成30年4月1日～平成32年3月31日	高等学校
塙津 二郎	大田区蒲田歯科医師会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	地域等委
今井 久二	和田精密歯株式会社	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業等委

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.dt.ntdent.ac.jp>

平成30年7月末日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。

また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.dt.ntdent.ac.jp>

授業科目等の概要

(歯科技工士専門課程歯科技工学科Ⅰ部) 平成30年度												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		場所		教員	企業等との連携	
必修	選択必修					単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	
○		造形美術概論 Compendium of Art of Dental Technology	歯や歯列のデッサンを通して、形態のとらえ方や、立体的な形態の表現力について学ぶ。	1年次前期	16	1	○		○		○	
○		歯科技工学概論 Compendium of Dental Technology Science	歯科医療に関する全般的な知識や歯科技工の重要性・歯科技工物についての概略を学ぶ。	1年次後期	20	1	○		○		○	
○		キャリアデザインⅡ Career Design II	歯科技工所の運営（経営）および歯科技工士としてのキャリア形成について学ぶ。	2年次前期	16	1	○		○		○	
○		スポーツ歯学入門 Introduction to Sports Dentistry	運動・スポーツそのもの、またデンタルチェックの実施、スポーツ傷害（外傷・障害）の診断・治療と安全対策を理解し、マウスガードの製作・調整法を学ぶ。	1年次前期	16	0			○ ○	○ ○	○ ○ ○	
○		デジタル歯科技工入門 Introduction to Digital Dental Technology	CADや3Dプリントなどデジタル技工の入門編。手作業ではなくコンピュータ（特にマウス）による設計方法を学ぶ。	1年次前期	16	0			○ ○		○ ○ ○	
○		歯科英語 English for Dental Technology	歯科に関係する英単語を中心とした歯科英語について学ぶ。	1年次前期	16	1	○		○		○	
○		英会話入門 Basic Skills for English Conversation	基本的な日常英会話やトラベル英会話について学ぶ。	1年次後期	16	1	○		○		○	
○		歯科技工士関係法規 Dental Technologist Applicable Laws and Regulations	「歯科技工士」として業務を行うために必要な「歯科技工士法」とその関連法規について学ぶ。	2年次前期	19	1	○		○		○	
○		キャリアデザインⅠ Career Design I	自分を知り、他者を知り、自分を信じる力を育て、言葉を使って自分なりに考え、他者と考えを通じ合わせ問題解決できるコミュニケーション力を学ぶ。	1年次前期	30	2	○		○		○	
○		歯科理工学基礎Ⅰ Dental Materials Science-Basic I	歯科材料の基本的な性質や、印象材、石膏、レジン等の性質、成形法について学ぶ。	1年次前期	32	2	○		○		○	
○		歯科理工学基礎Ⅱ Dental Materials Science-Basic II	金属材料の性質や、歯科鋳造に必要な材料、器械、器具等の性質、使用法について学ぶ	1年次後期	32	2	○		○		○	
○		歯科理工学応用Ⅰ Dental Materials Science-Advanced I	セラミックスや複合材料等の性質、成形法について学ぶ。	2年次前期	26	1	○		○		○	

○		歯科理工学応用Ⅱ Dental Materials Science-AdvancedⅡ	金属、高分子、セラミックス、複合材料などの性質・成形法について、実習物の製作に応用できる知識を身につける。	2年次後期	29	1	○		○	○	○	○	
○		歯科材料加工実習Ⅰ Dental Material Process PracticeⅠ	歯科技工士が使用する様々な歯科材料の取り扱い方について学ぶ。	2年次前期	32	1			○	○	○	○	
○		歯科材料加工実習Ⅱ Dental Material Process PracticeⅡ	歯科技工士が使用する様々な歯科材料の取り扱い方について学ぶ。	2年次前期	34	1			○	○	○	○	
○		歯科材料加工実習Ⅲ Dental Material Process PracticeⅢ	歯科技工士が使用する様々な歯科材料の取り扱い方について学ぶ。	2年次前期	36	1			○	○	○	○	
○		歯の解剖学基礎Ⅰ Dental Anatomy-BasisⅠ	歯の形態や特徴、口腔内や頭部の骨・筋肉・神経などについて学ぶ。	1年次前期	32	2	○		○	○	○	○	
○		歯の解剖学基礎Ⅱ Dental Anatomy-BasisⅡ	歯の形態や特徴、口腔内や頭部の骨・筋肉・神経などについて学ぶ。	1年次後期	16	1	○		○		○		
○		歯の解剖学応用Ⅰ Dental Anatomy-AdvancedⅠ	歯や顔面の発生、歯の組織について学ぶ。	2年次前期	26	1	○		○		○		
○		歯の解剖学応用Ⅱ Dental Anatomy-AdvancedⅡ	歯や顔面の発生、歯の組織の内容について振り返り、学ぶ。	2年次後期	29	1	○		○	○	○		
○		歯型彫刻基礎Ⅰ Basic Training of Dental CarvingⅠ	歯の形態を歯種別にとらえ、見本模型を見ながらデッサン・歯型彫刻について学ぶ。	1年次前期	48	1			○	○		○	
○		顎口腔機能学基礎 Stomatognathic Function Science-Basic	顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせ・技工物製作に使用する咬合器について学ぶ。	1年次後期	16	1	○		○	○	○		
○		顎口腔機能学応用 Stomatognathic Function Science-Advanced	顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせの様々な様式について学ぶ。	2年次前期	19	1	○		○	○	○	○	
○		顎口腔機能学実践 Training of Stomatognathic Function Science	フェイスボウトランスマーカーを体験し、半調節性咬合器の取扱い方について学ぶ。	1年次前期	26	0			○	○	○	○	
○		有床義歯技工学基礎Ⅰ Denture Techniques -BasicⅠ	虫歯や歯周病によって歯を失った場合に装着する義歯(総入れ歯・部分入れ歯)について学ぶ。	1年次前期	32	2	○		○	○	○	○	
○		有床義歯技工学基礎Ⅱ Denture Techniques -BasicⅡ	虫歯や歯周病によって歯を失った場合に装着する義歯(総入れ歯・部分入れ歯・金属床義歯)について学ぶ。	1年次後期	32	2	○		○	○	○	○	
○		有床義歯技工学応用Ⅰ Denture Techniques -AdvancedⅠ	虫歯や歯周病によって歯を失った場合に装着する義歯(総入れ歯・部分入れ歯・金属床義歯)について学ぶ。また有床義歯技工学について総合的に学ぶ。	2年次前期	26	1	○		○	○	○	○	

○		有床義歯技工学応用 II Denture Techniques -Advanced II	有床義歯技工学について総合的に学ぶ。	2年次後期	29	1	○		○	○	○
○		部分床義歯基礎実習 I Basic Training of Partial Denture Techniques I	部分床義歯(部分入れ歯)の製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	1年次前期	30	1		○	○	○	○
○		部分床義歯基礎実習 II Basic Training of Partial Denture Techniques II	部分床義歯(部分入れ歯)の製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	1年次前期	38	1		○	○	○	○
○		部分床義歯基礎実習 III Basic Training of Partial Denture Techniques III	部分床義歯(部分入れ歯)の製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	1年次前期	34	1		○	○	○	○
○		有床義歯基礎実習 Denture Techniques	個人トレーや咬合床など義歯製作の過程で使用するものについての理論と技術を学ぶ。	1年次後期	30	1		○	○	○	○
○		全部床義歯基礎実習 I Basic Training of Complete Denture Techniques I	全部床義歯(総入れ歯)の製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	2年次前期	30	1		○	○	○	○
○		全部床義歯基礎実習 II Basic Training of Complete Denture Techniques II	全部床義歯(総入れ歯)の製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	2年次前期	30	1		○	○	○	○
○		全部床義歯基礎実習 III Basic Training of Complete Denture Techniques III	全部床義歯(総入れ歯)の製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	2年次前期	30	1		○	○	○	○
○		有床義歯総合実習 I Basic Training of Denture Techniques I	人工歯排列、歯肉形成のトレーニングを行い、全技協実技認定試験に合格できる技術を身につける。	2年次後期	30	1		○	○	○	○
○		有床義歯総合実習 II Basic Training of Denture Techniques II	人工歯排列、歯肉形成のトレーニングを行い、全技協実技認定試験に合格できる技術を身につける。	2年次後期	34	1		○	○	○	○
○		有床義歯総合実習 III Basic Training of Denture Techniques III	ワイヤー屈曲のトレーニングを行い、国家試験に合格できる技術を身につける。	2年次後期	36	1		○	○	○	○
○		歯冠修復技工学基礎 I Restorative Dentistry-Basic I	虫歯などで削られた患者さんの歯に合った歯科技工物の要件、製作順序、インレー、全部金属冠等について学ぶ。また、歯を喪失した場合の歯冠修復物であるブリッジ等について学ぶ。	1年次前期	32	2	○		○	○	○
○		歯冠修復技工学基礎 II Restorative Dentistry-Basic II	虫歯などで削られた患者さんの歯に合った歯科技工物の要件、製作順序、インレー、全部金属冠、ブリッジ等に加えて審美的な歯科技工物である前装冠等について学ぶ。	1年次後期	32	2	○		○	○	○
○		歯冠修復技工学応用 I Restorative Dentistry-Advanced I	審美的な材料である陶材(ポーセレン)を使用した陶材焼付金属冠やオールセラミッククラウンについて学ぶ。	2年次前期	26	1	○		○	○	○
○		歯冠修復技工学応用 II Restorative Dentistry-Advanced II	歯を喪失した場合の修復方法であるインプラントについて学ぶ。また、歯冠修復技工学について総合的に学ぶ。	2年次後期	29	1	○		○	○	○

○		歯冠修復基礎実習 I Basic Training of Restorative Dentistry I	作業用模型の製作、インレー、全部金属冠等の製作を通して、それらの製作に関する理論と基本的な技術について学ぶ。	1年次 前期	30	1		○ ○	○ ○	○ ○		
○		歯冠修復基礎実習 II Basic Training of Restorative Dentistry II	作業用模型の製作、インレー、全部金属冠等の製作を通して、それらの製作に関する理論と基本的な技術について学ぶ。	1年次 前期	38	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復基礎実習 III Basic Training of Restorative Dentistry III	作業用模型の製作、インレー、全部金属冠等の製作を通して、それらの製作に関する理論と基本的な技術について学ぶ。	1年次 後期	34	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復基礎実習 IV Basic Training of Restorative Dentistry IV	作業用模型の製作、インレー、全部金属冠等の歯冠修復物に加えブリッジやより審美的な歯冠修復物に関する理論と基本的な技術について学ぶ。	1年次 後期	30	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復基礎実習 V Basic Training of Restorative Dentistry V	作業用模型の製作、インレー、全部金属冠等の歯冠修復物に加えブリッジやより審美的な歯冠修復物に関する理論と基本的な技術について学ぶ。	1年次 前期	30	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復応用実習 I Advanced Training of Restorative Dentistry I	硬質レジン前装冠やブリッジの製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	2年次 前期	30	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復応用実習 II Advanced Training of Restorative Dentistry II	硬質レジン前装冠やブリッジの製作を通して、それらの製作に関する理論と技術について学ぶ。	2年次 前期	30	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復総合実習 I Comprehensive Training of Restorative Dentistry I	全部金属冠の製作過程であるワックスアップの反復トレーニングを行い、全技協認定試験に合格できる技術を身につける。	2年次 後期	32	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復総合実習 II Comprehensive Training of Restorative Dentistry II	全部金属冠の製作過程であるワックスアップの反復トレーニングを行い、全技協認定試験に合格できる技術を身につける。	2年次 後期	30	1		○ ○	○ ○			
○		歯冠修復総合実習 III Comprehensive Training of Restorative Dentistry III	全部金属冠の製作過程であるワックスアップの反復トレーニングを行い、全技協認定試験に合格できる技術を身につける。	2年次 後期	38	1		○ ○	○ ○			
○		矯正歯科技工学総論 Principles of Orthodontics	矯正治療の概要を理解し、正常咬合と不正咬合、矯正歯科技工を行う上で必要な理論や基本的な手技について学ぶ。	1年次 後期	16	1	○		○	○		
○		矯正歯科技工学各論 Particular Theories of Orthodontics	各種矯正装置の役割や製作順序について学び、歯や顎骨をどのように移動させるかを理解する。	2年次 前期	17	1	○		○	○		
○		小児歯科技工学総論 Principles of Pedodontics	小児期の成長発育や特徴について学ぶ。	1年次 後期	16	1	○		○	○ ○		
○		小児歯科技工学各論 Particular Theories of Pedodontics	小児期の疾患や異常、その成長に応じた各種装置の製作法に必要な理論や技術について学ぶ。	2年次 前期	17	1	○		○	○ ○		
○		技工基本実習 I Basic Training of Dental Technology I	有床義歯、歯冠修復の技工物製作に必要な基本技術を学ぶ。	1年次 前期	30	1		○ ○	○ ○			

○		技工基本実習Ⅱ Basic Training of Dental Technology II	有床義歯、歯冠修復の技工物製作に必要な基本技術を学ぶ。	1年次 後期	30	0			○ ○	○ ○	○ ○		
○		歯型彫刻基本 Dental Carving	器具の持ち方、石膏棒の削り方等、基本的な操作を学ぶ。歯の形態を歯種別にとらえ、見本模型を見ながらデッサン・歯型彫刻について学ぶ。	1年次 前期	42	1			○ ○	○ ○			
○		歯型彫刻基礎Ⅱ Basic Training of Dental Carving II	歯の形態を歯種別にとらえ、見本模型を見ながらデッサン・歯型彫刻について学ぶ。	1年次 後期	48	1			○ ○		○		
○		矯正歯科技工実習 Practical Training of Orthodontics	矯正装置の製作を通して、矯正技工に必要な基本的な製作技術と矯正治療の流れを学ぶ。	1年次 後期	30	1			○ ○		○		
○		小児歯科技工実習 Practical Training of Pedodontics	クラウンループ等の製作を通して、小児歯科技工に必要な基本的な製作技術と小児歯科治療の流れを学ぶ。	2年次 前期	30	1			○ ○		○		
○		課題研究実習Ⅰ Research and Professional Practice I	今までに習得した知識・技術を結集し、卒業課題研究作品を完成させることにより、各自の得意分野を伸ばし、専門性を深める。	1年次 前期	30	1			○ ○	○ ○			
○		課題研究実習Ⅱ Research and Professional Practice II	今までに習得した知識・技術を結集し、卒業課題研究作品を完成させることにより、各自の得意分野を伸ばし、専門性を深める。	2年次 前期	30	1			○ ○	○ ○			
○		歯型彫刻応用Ⅰ Advanced Training of Dental Carving I	歯の形態を歯種別にとらえ、見本模型を見ずにデッサン・歯型彫刻について学ぶ。	2年次 後期	30	1			○ ○	○ ○			
○		歯型彫刻応用Ⅱ Advanced Training of Dental Carving II	歯の形態を歯種別にとらえ、見本模型を見ずにデッサン・歯型彫刻について学ぶ。	2年次 後期	30	1			○ ○	○ ○			
○		歯科技工実習総合Ⅰ Training of Dental Technology I	印象採得の合同実習を通じてチーム歯科医療を理解する。また、習得した知識・技能について実習試験を行い、課題発見することで技術向上につなげる。	1年次 前期	32	0			○ ○	○ ○			
○		歯科技工実習総合Ⅱ Training of Dental Technology II	習得した知識・技能について実習試験を行い、課題発見することで技術向上につなげる。	1年次 後期	32	1			○ ○	○ ○			
○		歯科技工実習総合Ⅲ Training of Dental Technology III	各実習で使用する模型及び国家試験で使用する石膏棒等の準備をする。また、トレーニング及び実技試験を行い、全技協認定試験、国家試験に合格できる技術を身につける。	2年次 前期	32	1			○ ○	○ ○			
○		歯科技工実習総合Ⅳ Training of Dental Technology IV	実技試験を通じて課題発見し、全技協認定試験に合格できる技術を身につける。	2年次 後期	32	1			○ ○	○ ○			
○		コース別実習Ⅰ (総合・デジタル・スポーツ) An Optional Programs I	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれで基本的な模型実習を行い、製作法を学ぶ。	1年次 後期	32	1			○ ○	○ ○	○ ○		
○		コース別実習Ⅱ (総合・デジタル・スポーツ) An Optional Programs II	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれ、それぞれの現場を見学、体験しながら、必要とされる知識を学ぶ。	1年次 後期	30	0			○ ○	○ ○	○ ○		

○		コース別実習Ⅲ (総合・デジタル・スポーツ) An Optional Programs III	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれ、それぞれの現場を見学、体験しながら、必要とされる知識を学ぶ。	1年次後期	30	0			○	○	○	○	○	○
○		コース別実習Ⅳ (総合・デジタル・スポーツ) An Optional Programs IV	総合コース、デジタルコース、スポーツコースに分かれ、それぞれの現場を見学、体験しながら、必要とされる知識を学ぶ。	2年次前期	60	1			○	○	○	○	○	○
○		課題研究実習Ⅲ Research and Professional Practice III	今までに習得した知識・技術を結集し、卒業課題研究作品を完成させることにより、各自の得意分野を伸ばし、専門性を深める。	2年次後期	30	0			○	○	○	○	○	○
○		インターンシップ I Internship I	インターンシップを通して、仕事と職場を理解する。	1年次前期	12	0			○	○	○	○	○	○
○		インターンシップ II Internship II	インターンシップを通して、仕事と職場を理解する。	2年次前期	24	0			○	○	○	○	○	○
○		総合歯科技工学 I Dental Technology - Comprehensive I	1、2年で学んだ科目についての知識を振り返ると共に、歯科技工をするにあたり総合的に捉え考える力を身につける。	2年次後期	16	1	○		○	○				
○		総合歯科技工学 II Dental Technology - Comprehensive II	1、2年で学んだ科目についての知識を振り返ると共に、歯科技工をするにあたり総合的に捉え考える力を身につける。	2年次後期	16	1	○		○	○				
合計				79	科目				2254時間(77単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。 全科目履修で卒業となる。	1学年の学期区分	前期・後期
	1学期の授業期間	27週

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。